



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 7月号

夏期特別展 「身近な地学ハイキング」

四季を通じて、多くの人々が自然を満喫しながらハイキングを楽しんでいます。自然の美しさや壮大さに触れることで、感動したり、充実感や達成感を味わったり、心を癒したりします。目的をもって、景勝地や名所旧跡を歩いたり、野鳥や草花をみながら歩くという人も多く、それを紹介するガイドブックも数多くあります。この度、夏期特別展「身近な地学ハイキング」と題し、すばらしい景観や眺望がどんな理由でできた地形なのか、その大地はいつ頃どのようにしてできたのか、生活と大地はどのように関わっているのか、ハイキングを地形的・地質的な側面から捉えた展覧会を企画しました。



神奈川県西部をなす山地には、相模川・酒匂川流域である丹沢山地、その北に小仏山地、南に箱根火山があります。相模川の源流には富士山があります。平塚市域は、丹沢山地の前面にある丘陵と相模川下流域にあたる平野からなります。ここでは、相模川・酒匂川



流域のうち、緩やかな丘陵地を歩くコース、川沿いに歩くコース、沢を登るコース、山頂を目指すコース、やや険しい登山コースなど、日帰りで行けるハイキングコースを紹介します。自然に触れながら、地形的な眺望を楽しみ、大地の成り立ちを示す岩石や地層にも目を向けていただきたいと思います。

博物館では、流域の地学ハイキングとして「相模川の生い立ちを探る会」を、毎月1回実施し、各地を歩き、観察を続けています。大地のダイナミックな声を聞くことができると、山歩きの楽しみがもう一つ増えることでしょう。

会 期：平成15年7月19日（土）～9月15日（月）

会 場：平塚市博物館 特別展示室

講演会：「丹沢にサンゴ化石を求めて」 8月10日（日） 13時30分～15時30分

講 師：東海大学付属相模高等学校 門田真人氏 於：講堂 参加自由

野外見学会：「丹沢に海底火山の証拠を探す」 9月6日（土） 場所：松田町寄沢
往復葉書による申込制

夏期特別展「身近な地学ハイキング」の紹介

渋沢丘陵を歩くー秦野湧水群と渋沢鉱山ー

○コース：秦野駅～秦野湧水群～震生湖～栃窪～渋沢鉱山

○見 所：水無川と金目川の扇状地からなる秦野盆地には、盆地南東部の今泉や平沢付近に、数多くの湧水池があり、秦野湧水群として全国名水百選に選定されています。この地域にどうして湧水が多いのでしょうか。地形との関係を見ながら、湧水池を歩いてみましょう。また、渋沢丘陵には、大正12年の関東地震で生まれた震生湖があり、稜線沿いからは丹沢山地の表尾根がよく展望できます。渋沢の峠にはかつて渋沢鉱山があり、石膏を採掘しました。ここでは、一般的なハイキングコースとなっているこのコースを地学的な側面から見てみましょう。

■ 秦野駅から3分ほどのところにある「弘法の清水」は弘法大師が杖を突いて清水を湧きだしたとい伝えられている湧水で、秦野盆地の湧水として有名です。この南東にある寿徳寺湧水は昭和34年に簡易水道として作られ、尾尻水源として今も利用されています。太岳院湧水（今泉湧水池）の池底からは縄文～平安時代の遺物が多量に発見されており、古代から水利用がなされていたようです。現在も池西側に湧水が見られます。

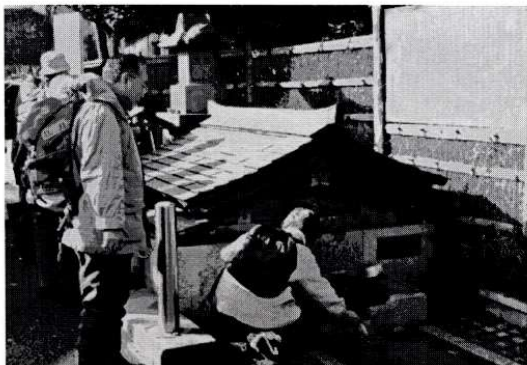
■ このように、秦野盆地には数多くの湧水が知られており、秦野盆地湧水群として、全国名水百選の1つとして昭和60年1月に環境庁（現環境省）により選定されています。盆地内に降った雨は上流部では地下へ浸透しますが、盆地を作る扇状地の礫層を通して下流に運ばれ、扇状地末端にあたる今泉地区で湧水しているのです。この扇状地に入り込む小さな谷戸沿いにも、荒井湧水・小藤川湧水などが湧きだしているほか、地下の地下水層まで孔を開け、地面の圧力で自噴した泉（自噴泉）が、数多く見られます。

■ 震生湖は1923年（大正12年）9月1日の関東大震災の際、市木沢の北斜面（現在のゴルフ練習場の北壁）が崩壊し、土砂が谷を堰き止めてできた堰止

め湖です。寺田寅彦はこの震生湖を調査し、句碑が崩壊土砂からなる高まりの上に建てられています。当初は西湖と東湖に分かれていたようです。

■ 冬の好天時なら、震生湖付近や栃窪集落東からは秦野盆地や丹沢表尾根のすばらしいパノラマが見られます。秦野盆地が扇状地地形からなることを確認しましょう。地図とパノラマを重ねてみると、表尾根の後ろに檜洞丸南の同角ノ頭が重なり、スカイラインをなしていることがわかります。さらに地質図と重ねて、尾根と地質との関わりを見ることもできます。

■ 峠集落の南にある市見沢沿いには、かつて渋沢鉱山がありました。この鉱山は昭和9年、平塚市新宿の成瀬林平氏により金銀銅試掘として申請され、昭和10～23年（1935～1948年）頃まで石膏を中心に採掘されました。現在でも坑道が数カ所残っています。石膏は丹沢層群のデイサイト質火山礫凝灰岩の中に存在し、海底の熱水活動によって形成されたものと考えられます。熱水により脱色した白色粘土からは石膏に混じって黄鉄鉱や高温石英が現在でも採集できます。篩を使って粘土を洗ってみると、1～2mmの黄鉄鉱や高温石英を集めることができます。



弘法の清水（秦野市大秦町）



渋沢鉱山跡で黄鉄鉱を探す

博物館 夏の行事ご案内

☆プラネタリウム「火星ー夢みるシジミ」

火星に生き物は住めるのか、小さな生き物たちと考えてみましょう。

投影日：水・木・土・日曜日の11時と14時

期間：7月19日（土）～9月7日（日）まで

◎自由研究相談会

自由研究のまとめ方などについてアドバイスします。

日 時：7月30日（水）8月20日（水）9時～12時

場 所：博物館科学教室

対 象：小学生・中学生

参 加：自由

◎星を見る会「夏の星空に親しもう」

夏の星座や二重星、月面の迫力あるクレーターなどを観察します。

期 日：7月25日（金）8月8日（金）

時 間：19時～20時30分

場 所：博物館科学教室・屋上

参 加：自由

◎火星を見る会

大接近の火星を望遠鏡で観察します。

期 日：8月22日（金）26日（火）27日（水）28日（木）29日（金）

時 間：20時～22時

場 所：博物館科学教室・屋上

参 加：自由

◎自然観察入門講座「貝化石を調べよう」

大磯海岸で貝化石を観察し、採集します。

期 日：8月8日（金）9時～15時

場 所：大磯町西小磯海岸

申込み：往復はがきで7月27日まで

定 員：30名

◎みんなで調べよう「セミ調べ」

市内の各緑地でせみの抜けがらを集め、その種類や数を比較します。参加された方には、2～3ヶ所の調査を受け持ってください。

ガイドンス

日 時：7月20日（日）13時～15時

場 所：博物館科学教室

まとめ

日 時：8月31日（日）13時～15時

場 所：博物館科学教室

申込み：往復はがきで7月10日まで

◎体験学習

縄文土器を作ろう

8月6日（水）7日（木）8日（金）22日（金）の4日間

場所：科学教室

対象：小学5・6年と中学生（4日間全日程参加できる方）

参加費：材料費実費

申込み：往復はがきで7月20日まで

定 員：20名

◎体験学習「地形模型を作ろう」

厚紙を切り抜いて立体的な地形模型を作ります。

8月19（火）・21日（木）の2日間（2日間参加できる方）9時～16時半

対 象：小学生4年生以上

場 所：博物館科学教室

材料費：1700円

申込み：往復はがきで8月2日まで

定 員：20名

◎雑貨団演劇公演 シアトリカルプラネタリウム「宙ヲ飛ブ人タチ」

プラネタリウムという空間で演じられるちょっと不思議な演劇公演です。

雑貨団は1998年に玉川大学芸術学科在学生を中心に発足した、既成の枠にとられない舞台表現活動を行う集団です。シアトリカルプラネタリウムとは「劇的、芸術的なプラネタリウム作品」であり、「星とひと」が主なテーマで星のもとでの出会い、ドラマが描かれています。

日 時：7月25日（金）15時と18時の2回 上演時間約1時間

場 所：博物館プラネタリウム室

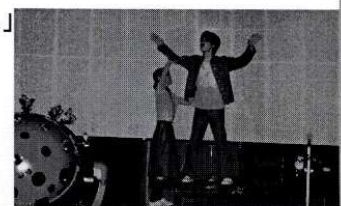
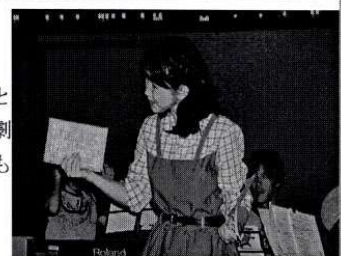
申込み：7月23日までに博物館に電話で「シアトリカルプラネタリウム」

観覧希望の予約をしてください。電話番号は0463-33-5111です。

予約された方は当日各回10分前までに受付にて入場券と交換します。

定 員：各回とも電話受付で先着50名まで。人数に達し次第締め切ります。

入場無料。



博物館カレンダー

2003 年 7 月の行事

7	2	水	平塚社寺調査会	特研究室
7	3	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
7	4	金	古文書講読会	講 堂
7	10	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講 堂 中 原
7	11	金	古文書講読会	講 堂
7	12	土	◎ 漂着物を拾う会 天体観察会 火星学習会	虹ヶ浜 特研究室
7	13	日	水辺の楽校生きもの調べの会 古代遺跡を探す会 地質調査会	馬入 野外 科学室
7	16	水	裏打ちの会	科学室
7	17	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
7	18	金	古文書講読会	講 堂
7	19	土	☆ プラネタリウム「火星ー夢みるシジミ」(～9月7日) ☆ 夏期特別展「身近な地学ハイキング」(～9月15日) ☆ 機関車写真展(社会教育課)(～7月27日)	プラネ 特研究室 講 堂
7	20	日	民俗探訪会「三増獅子舞」 ◎ ろばた話の会 ○ みんなで調べよう「セミ調べ」	愛川町 展示室 科学室
7	24	木	石仏を調べる会 植物誌調査会	中 原 野 外
7	25	金	古文書講読会 ○ シアトリカルプラネタリウム「宙ヲ飛ブ人ヲチ」 雑貨団演劇公演 ◎ 星を見る会 天体観察会(～26日)	講 堂 プラネ 屋 上 屋 上
7	26	土	民具に親しむ会 空襲と戦災を記録する会	科学室 特研究室
7	27	日	相模川の生い立ちを探る会	富士山
7	30	水	◎ 自由研究相談会	科学室
7	31	木	地質調査会	清川村

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制
◎：自由参加 無印：年間会員制

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「平塚の空襲と戦災」展
会 期：6月20日(金)～7月30日(水)

☆夏期特別展「身近な地学ハイキング」
会 期：7月19日(土)～9月15日(日)まで
会 場：特別展示室

☆ プラネタリウム「太陽の動き・星の動き」
投影日：土曜日の14時 日曜日の11時と14時
期間：6月21日(土)～7月13日(日)まで

☆こども向け投影番組「だれがお日さまかくしたの？」
6月21日～7月12日 土曜日 11時

☆プラネタリウム「火星ー夢みるシジミ」
投影日：水・木・土・日曜日の11時と14時
期間：7月19日(土)～9月7日(日)まで

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日 時：7月12日(土)9時30分～11時

場 所：平塚虹ヶ浜海岸

参 加：自由(ただし、初めてのの方は往復はがきで申し込むこと)

2003 年 8 月の行事

8	1	金	☆ 寄贈品コーナー「考古分野」(～9月11日)	展示室
8	3	日	水辺の楽校生きもの調べの会	馬 入
8	6	水	平塚社寺調査会 ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	市 内 科学室
8	7	木	展示解説ボランティアの会 ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	特研究室 科学室
8	8	金	古文書講読会 ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」 ○ 自然観察入門講座「貝化石」 ◎ 星を見る会 天体観察会(～9日)	講 堂 科学室 野 外 屋 上 屋 上
8	9	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
8	10	日	古代遺跡を探す会	野 外
8	14	木	湘南コケの会	野 外
8	15	金	古文書講読会	講 堂
8	16	土	地質調査会	科学室
8	17	日	民俗探訪会「皇大神宮祭礼」 ◎ ろばた話の会	藤沢市 展示室
8	19	火	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
8	20	水	◎ 自由研究相談会 裏打ちの会	特研究室 科学室
8	21	木	展示解説ボランティアの会 ○ 体験学習「地形模型を作ろう」	特研究室 科学室
8	22	金	古文書講読会 ○ 体験学習「縄文土器を作ろう」 ◎ 火星を見る会・天体観察会	講 堂 科学室 屋 上
8	23	土	民具に親しむ会 空襲と戦災を記録する会 ○ 自然の新聞を作る会	科学室 特研究室 野 外
8	24	日	相模川の生い立ちを探る会	清川村
8	26	火	◎ 火星を見る会・天体観察会	屋 上
8	27	水	◎ 火星を見る会・天体観察会	屋 上
8	28	木	石仏を調べる会 植物誌調査会 ◎ 火星を見る会・天体観察会	市 内 野 外 屋 上
8	29	金	古文書講読会 ◎ 火星を見る会・天体観察会	講 堂 屋 上
8	30	土	地質調査会	清川村
8	31	日	○ みんなで調べよう「セミ調べ」	講 堂

◎ ろばた話の会

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
7月20日(日)(1)13時20分～(2)15時～
場 所：展示室民家 参 加：自由

◎夏休み自由研究相談会

日 時：7月30日(水)9時～12時 場 所：科学教室
対 象：小学生・中学生 参 加：自由

◎星を見る会「夏の星空に親しもう」

期 日：7月25日(金) 時 間：19時～20時30分
場 所：博物館科学教室・屋上 参 加：自由

○みんなで調べよう「セミ調べ」ガイドス

日 時：7月20日(日)13時～15時
場 所：博物館科学教室

○シアトリカルプラネタリウム「宙ヲ飛ブ人ヲチ」雑貨団演劇公演
日 時：7月25日(金)15時と18時の2回

あなたと博物館 29巻 4号 通算319号 発行 平塚市博物館 2500
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>